

かがやき

「風花 (かざはな)」

～ちらちらと風に運ばれてきた雪片のこと～

令和 3年 12月 3日(金)発行 第33号

「親子ふれあい弁当デー」を通して

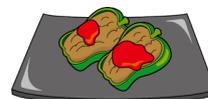


11月26日(金)は、保護者と一緒に弁当づくりに挑戦するという試み、「親子ふれあい弁当デー」でした。

まだ1年生ですので、食育担当教師からは、「『献立を一緒に考える』『買い物と一緒に行く』『お弁当を詰める』などがあるので、お弁当作りに携わりましょう」と指導がありました。

当日の朝、昇降口に入ってくる生徒たちに「お弁当もってきた？何、お手伝いした？」と質問をしてみると…、「卵焼きを焼きました」「ウインナーを炒めました」「ご飯を詰めてきました」「前日に、唐揚げの下味をつけました」「生姜焼きを作りました」と、いつもとはどこか違う、誇らしげな顔で答える生徒たちの姿がありました。

3組:猪狩陽菜さんと、同じ3組:坂本七海さんが感想用紙に書いたコメントを掲載します。



☆ 猪狩さん ☆

「今回は卵焼きを作りました。母に教えてもらいながら作り、おいしい卵焼きとおにぎりができて嬉しかったです。今までお弁当を作ることはあまりなかったけれど、楽しかったし、またやりたいと思えるようになりました。」

☆ 坂本さん ☆

「ピーマンの肉詰めを前日から準備しました。少し手伝ってもらいましたが、基本は一人で頑張りました。おにぎりも作りました。形が崩れてしまったけれどなんとか直して形にできました。いつも早起きして作ってくれる母に感謝したいです。」

他にもこんな感想が見られました。

- 作ってくれる人の思いや大変さが分かりました。 ○いつも以上にコミュニケーションの時間が増えて楽しかったです。
- 弁当作りの大変さを知ることができたので、これからはもっと感謝して食べたいと思いました。 ○弁当箱にご飯とおかずを詰めるだけでも意外と難しかったです。 ○弁当作りは朝から大変な作業であることが分かりました。これからは少しでも手伝おうと思います。 ○お米を研ぎましたが、手が冷たかったです。 ○いつも栄養のバランスを考えて作ってくれていてすごいと思いました。 ○いつも仕事で疲れているのに、お弁当作りまでしてくれて、あらためて嬉しく思いました。
- 料理は難しいけれど、やってみると楽しいということも知れました。

※今回すべて一人で作った生徒 = 3名(各クラス1名ずついました) ※一番作られていたメニュー = 卵焼き

生徒たちは、今回の経験を通して、様々なことを考えることができたことが分かります。「お弁当」は、単なる食べ物ではなく、自分を大切に思ってくれている『愛』が形になったものと言えます。これまで当たり前だと思っていたことに、感謝の思いをもつことができたことは何ものにも代えがたい経験でした。保護者の皆様、お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。

なお、学校でも、家庭科の授業で調理実習を行い、「肉じゃが」「わかめと豆腐のみそ汁」「ほうれん草のごま和え」を作りました。各学級とも、短い時間で、手際よく協力して完成させました。「おいしかった」という感想も多数聞かれました。



来週の予定

6日(月)		15:50 下校	9日(木)		15:50 下校
7日(火)		15:50 下校	10日(金)	避難訓練⑥	15:50 下校
8日(水)	④カット	14:30 下校	～来週は基礎学力コンテスト・社会の準備期間です～		